

サステイナブルシステム科学研究科 グローカル文化学専攻（博士後期課程）カリキュラムマップ

アドミッション・ポリシー
サステイナブルな社会を人文科学的・社会科学の視座から達成するために、先見的かつ総合的な道筋を提案し、国際・地域課題の解決に取り組む人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を備えた入学者を求むる。

カリキュラム・ポリシー
本研究科では、生産システム科学・ヘルスケアシステム科学・グローバル文化学の各専攻が共創し、地域およびグローバルな視点からの課題発見・解決への道筋を立て、さらに地域社会の持続的発展のためのシステム構築に指導的役割を果たし、また関連分野における学術研究推進にも資する人材を育成するための、体系的な教育課程を編成する。

研究科のアドミッション・ポリシー

- 本学の修士課程が有する生産システム科学、ヘルスケアシステム科学、グローバル文化学の各専攻およびこれに相当する高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、各専攻の専門領域に関する実習を了した者。
- 地域と世界の持続可能性への高い志を有し、持続可能な社会実現のために、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれず、活用可能なアイデアを現場と連携して創出することに強い興味と意欲を持つ者。他分野にも関心をもち、人類全体と身近な生活圏の持続可能性に係る課題を発見し、解決への道筋を示す意欲を有する人。
- 個々の専門性を深めるなかで、国内外の研究者に対して共鳴力と協調性をもってコミュニケーションでき、生命の尊厳と人間性を重んじる倫理観をもって課題に向き合うことができ、課題解決への強い意志を有する人。

研究科のカリキュラム・ポリシー

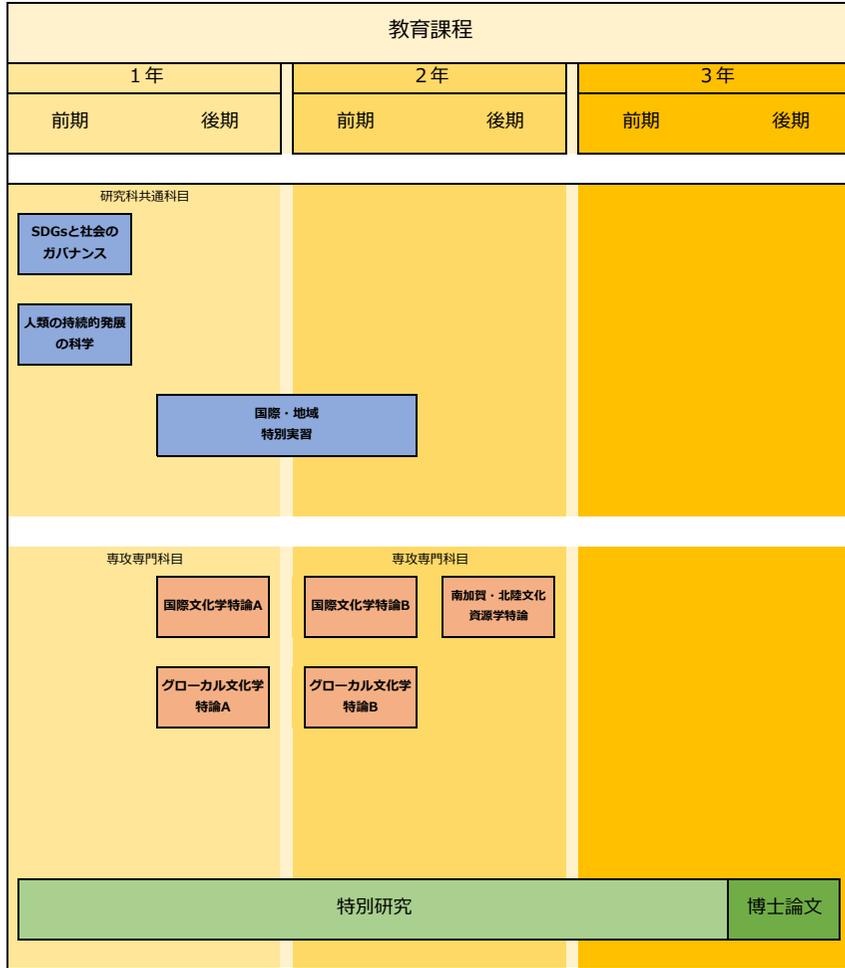
- CP-1：人類の持続的発展のための諸課題を明らかにし、それら課題の解決と社会実装に向けての能力を育成する。
- CP-2：特定の学問領域を超えて、柔軟にかつ高度な専門知の総合的運用能力を育成する。
- CP-3：各専攻に固有な学問領域の高度専門能力の育成を図る。
- CP-4：地域・国際社会で活躍できる資質を涵養する。

専攻のアドミッション・ポリシー

- 高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する知識を有する者。
- 言語文化学・政治経済学・観光学の専門性を深めるなかで、豊かな創造性と歴史感覚を働かせるとともに、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれない、先見的かつ総合的な道筋を提案できる人。
- 南加賀および北陸と国際社会の持続可能性に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を養い、地域課題の解決に指導的役割を果たしたい人。

専攻のカリキュラム・ポリシー

- CP-5 国際文化という観点から、人類の持続的発展のための諸課題を明らかにし、言語文化学、観光学、政治・経済学といった専門分野において、それら課題の解決と社会実装に向けての能力を育成するための関連科目を編成する。
- CP-6 持続的可能性を視点に新しい文明価値の創出につながる地域的・地球的課題解決のための研究力を養い、固有な学問領域を超えて、柔軟にかつ高度専門知の総合的運用能力を育成するための教科目を配置する。
- CP-7 人文科学・社会科学に固有な学問領域の高度専門能力の涵養を図り、他分野の専門家と協働して課題解決にあたる能力と実践を備えた研究者を育成するための教科目を配置する。
- CP-8 地域・国際社会で活躍できる資質を涵養するために、本学が立脚する南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、その成果を南加賀および北陸の地域創生に役立てる力を獲得するための教科目を配置する。



学 位
持続可能な社会の実現に向けて、南加賀・北陸地域に根ざった研究課題に取り組み、そこで得られた知見を基に研究者として活躍する能力を有し、国際文化に関する幅広い学識と経験を生かし、研究成果を博士論文が審査に合格した学生に博士（国際文化学）の学位を授与する。

養成する人材像

研究科のディプロマ・ポリシー

- DP-1 高度専門能力に立脚した「総合知」を備えて、地域と世界の抱える様々な問題に学際的アプローチができ、持続可能な社会実現のため、組織の指導者として活躍できる能力を有すること。
- DP-2 ものづくり、保健医療、グローバル文化学の各専攻の専門領域で、自立した研究者および教育者として、その分野の学問の深化と発展に貢献できる能力を有すること。

研究科において育成をめざす人材像

「課題発見解決能力、社会実装力を備えた次世代人材」、「地域産業の高度化、地域発イノベーション等を担う高度人材」、「未来を支える教育者、研究者、組織指導者」、「『総合知』に立脚し、高度な専門能力を備えた人材」などの人材を育成し、「地域・国際社会へのサステイナビリティへの貢献」をめざす。

専攻のディプロマ・ポリシー

- DP-3 本学が立脚する南加賀および北陸地域の自然・文化・歴史・政治・経済・観光などに関する諸課題を発見し、「総合知」を備え、地域と世界の抱える様々な問題に学際的アプローチができると評価でき、かつ、持続可能な社会実現のため、組織の指導者として活躍できる能力を有すること。
- DP-4 国際文化という観点から、言語文化学、観光学、政治・経済学といった専門分野において、それらの先端的な理論と知識を駆使し、自立した研究者および教育者として、その分野の学問の深化と発展に貢献できると評価でき、他分野の研究者とも連携・協働して研究を推進する能力を有すること。

専攻において育成をめざす人材像

南加賀および北陸に軸足を置き、アジアを中心とした国際文化研究、すなわち、本学の強みである、観光学、政治・経済学、言語文化学を、例えば日本と中国、日本と東南アジア、そしてそれらの地域・国を取り巻く世界の国々との比較研究を通じて、そこで得られた課題解決にあたる能力と実践を身につけ、最終的には本学が立脚する南加賀および北陸地域に応用していく方向性がある。同時に、地域・国際課題を発見し、それを横断的・複眼的な視座から解決を試み、確固とした倫理観に裏打ちされた行動様式を意識しながら、地域を活性化できる人材育成をめざす